

# 大館の歴史散歩

流れを  
訪ねて ⑪

## ひっかがわ 引欠川とその流域

地元では「ひっかがわ」とも言われていて、むかし「曳欠川」とも記されたこの川は、比内町竜ヶ森に源を発する糸柄沢と長内沢が合流して始まる。その後大館盆地の南縁を断層線と並行して北西流し、板戸川を合わせ板沢集落の北西で米代川に注ぐ、流路延長二十ニキロメートル、流域面積七十九・七平方キロメートルの一級河川である。川名の「ヒキ」は低い、「カケ」は崖の地形を意味する。

その語源のとおり、北部を並行する犀川との間には低い段丘が続き、南西部の摩当山塊の麓を断ち切つて両岸は崖地を形成している。

この地域は古くから洪水に悩ま



過去に数多くの洪水を引き起こした引欠川も、今は静かに流れている。

されてきたようである。このことは、菅江真澄の足跡からも知ることが出来る。享和三年（一八〇三）夏の日記（「えのしがらみ」）には、大披村に来た真澄が、引欠川が二十年ほど前に崩れ、むかし埋没していた家屋数軒が現われた話を聞き、さつそくまだ残っていた二つの礎と下駄などの出土品を写生したと記されている。これらは《菅江真澄翁画》の埋没家屋（仮題）の一部として現存する。

また、後年になってこのことを、随筆《さくらさがり》（文政七年（一八二四））の「小袴さくら」に詳しく記している。内容は「小袴村・出川村を流れる引欠川が安永四年（二七七五）の洪水で岸が崩れ、土の中から家が三、四戸出た。また、寛政五年（一七九三）ごろから四年間ほど、毎年岸が崩れて、板沢村の市重郎の畑から家が五、六戸出た。」（抜粋）となっている。これらの家は平安時代に大館盆地がシラス洪水で湖沼化したときに埋没したもので、それが江戸時代の洪水で現われたものである。これらのほか、真澄に関する資料は市立中央図書館に所蔵されている。

過去、数多くの災害に見舞われてきた二井田、真中地区ではあるが、引欠川を始め、犀川、米代川の氾濫により肥沃な土地が形成されたことは否めないだろう。

明治三十九年の資料では、旧八町村の平均石盛が一・〇石なのに對し、二井田村が一・四石、真中村が一・二石と群を抜いている。現在でもこの地域は大館市を代表する穀倉地帯である。

引欠川は地元集落以外ではあまり知られていないが、これを機にその名と歴史の一部を知っていたければ幸いである。

参考文献 『角川日本地名大辞典』

菅江真澄全集  
市役所歴史探訪会

## ちびっ子ギャラリー おとうさん



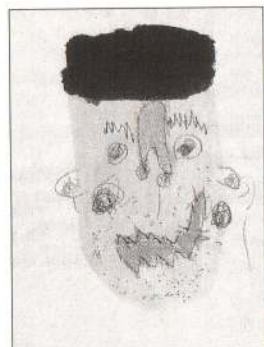
洪田 ゆうじくん (4歳)  
おとうさんと一緒に散歩するのが好きなんだ。



近藤 みさとちゃん (4歳)  
看護婦さんになってみんなを助けてあげるんだ。



畠沢 しゅんくん (4歳)  
僕のことをよく写真に撮ってくれるんだよ。



## 花岡保育所

## 広報 おおだてがヒント



### ▽問題

- ① 都市計画道路大館駅東大館線の小坂鉄道軌道敷を越えて大館駅に結ぶ部分の事業は何年度の予定？
- ② H I C が設置されたところは何課？
- ③ 市民菜園の1区画当たりの面積は？
- ④ 市の8年度奨学生募集人員は？
- ⑤ 中央図書館の「テーマ関連図書コーナー」2月のテーマは？

### ▽応募方法

はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①-②)を書いて応募ください。

### ▽締め切り

2月24日(土) 当日消印有効

### ▽応募先

〒017大館市宇中城20番地

広報おおだてクイズ係

※全問正解者の中から抽選で5人に、広報おおだてオリジナルレカ(秋田犬)を贈ります。

### ▽1月16日号の答え

- ① 7億円
- ② 9時~16時
- ③ できない
- ④ カッチグ
- ⑤ ユリ

### ▽1月16日号の当選者

- ・山田キミエさん(東台3区)
  - ・成田時矢さん(天神町)
  - ・田村富太郎さん(菅田子)
  - ・佐藤純子さん(美園町)
  - ・島内タカさん(御坂)
- ※応募総数89、全問正解者数76